

## JOMF 派遣医師便り (2016. 3)

### ◆マニラ◆

## “ Dengue 熱ワクチン ” 接種を開始しました！

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

待望の「 Dengue 熱ワクチン 」の接種がフィリピンでも可能になりました。 Dengue 熱発症予防、 Dengue 熱重篤化の予防に役立つと考え、当診療所でも 2016 年 3 月から接種を開始しました。

WHO によれば Dengue 熱は世界中の 128 か国で年間約 4 億人が感染しています。人口の流動、気候変動などにより媒介する蚊の生息域が広がり 50 年前に比べて Dengue 熱の発症率は 30 倍増加したと言われていています。フィリピンでも Dengue 熱の患者さんが例年 10 万人以上発生していると推定されています。年間を通じて患者さんは発症していますが、特に蚊の繁殖しやすい雨期（日本の夏・秋）に多く見られます。マニラ日本人社会においても同様です。

Dengue 熱はウイルス性疾患で蚊によって媒介されます。蚊の吸血活動は昼間、特に朝と夕方に活発です。蚊に刺されないように個人的な防御対策、公衆衛生的な生活環境の改善を行うことはもちろんですが、発症予防や重篤化に至らないためにワクチン接種は非常に大切な予防対策です。

Dengue 熱は、年齢や性別に関係なく罹患しますが、活動範囲が広い人々の発症が多く、年齢では思春期直前～成人が好発年齢とされています。

今回認可されたワクチンにおける 9 才～16 才に限った有効性の検討では、4 種類の Dengue ウイルス血清型のいずれにおいても被験者の 3 分の 2 で Dengue 熱の発症を低減することが明らかにされました。またこの年齢層の被験者における重症 Dengue 熱を 10 例中 9 例予防し、入院は 10 例中 8 例予防したことが示されました（サノフィ・パスツール社、フランス）。

発症予防・重篤化に至らないためにワクチン接種は非常に有効な予防対策です。

以下、簡単にワクチンの説明を記します。

- \* 6 か月間隔で 3 回接種する Dengue 熱ワクチン（生）です。
- \* 現段階では、9 才以上 45 才までの方が接種対象です。
- \* 授乳中、妊娠中の方は接種できません。
- \* ステロイド使用中、化学療法中、免疫抑制剤使用中の方は事前にご相談ください。

接種に当たりご心配なことがあれば担当医にご相談ください。  
皆さんお体大切にしてください。

(2016年3月10日記)